

【書式A】

施設名 国立文化財機構処理番号 9110

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(1) 事務の一元化								
担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者	総務企画課長 藤本慎也					
実績・成果	20年度4月から人事給与システムを一元化し、事務作業の効率化及び費用の削減に努めた。								
補足事項									
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	17	18	19	20
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)								
中期計画記載事項	<p>1 職員の意識改革を図るとともに、収蔵品の安全性の確保及び入館者へのサービスの向上に考慮する。また、運営費交付金を充当して行う事業については、国において実施されている行政コストの効率化を踏まえ、業務の効率化を進め、さらに、外部委託の推進等により、中期目標の期間中、毎事業年度につき新規に追加される業務、拡充業務分等を除き5年期間中一般管理費15%以上、業務経費5%以上の業務の効率化を図る。</p> <p>さらに、法人統合のメリットも最大限に生かしつつ業務の効率化に務め、機構の業務運営に際しては、一般管理業務の本部への一元化、集約化等を図り、19年度一般管理費（物件費）の10%相当を統合後5年間で削減を図る。</p>								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。				順調に成果を上げている。					


中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------



事業名	(2) 使用資源の減少																																																																															
担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館総務部経理課、京都国立博物館総務課、奈良国立博物館総務課、九州国立博物館総務課、東京文化財研究所管理部、奈良文化財研究所管理部管理課			事業責任者	事務局長 金谷史明																																																																										
実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水料の節減のため、より安価な契約方法の検討に加え、エネルギー効率の良い機器への交換、日常の節電節水の周知徹底、夏季の軽装励行、冷暖房の省エネ運転等を行った。 廃棄物削減では、ミスコピーの防止及び両面印刷の励行、館内 LAN・電子メール等の活用による文書のペーパーレス化を行った。 <p>○使用資源の推移等 光熱水料金 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料</td> <td>397,304</td> <td>427,588</td> <td>30,284</td> </tr> <tr> <td>水道料</td> <td>89,081</td> <td>84,044</td> <td>△5,037</td> </tr> <tr> <td>ガス料</td> <td>114,008</td> <td>138,811</td> <td>24,803</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>600,393</td> <td>650,443</td> <td>50,050</td> </tr> </tbody> </table> <p>○電気・ガスを19年度単価ベースにした場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料</td> <td>397,304</td> <td>390,591</td> <td>△6,713</td> </tr> <tr> <td>水道料</td> <td>89,081</td> <td>84,044</td> <td>△5,037</td> </tr> <tr> <td>ガス料</td> <td>114,008</td> <td>111,955</td> <td>△2,053</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>600,393</td> <td>586,590</td> <td>△13,803</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考) 光熱水量使用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料</td> <td>28,188,500kwh</td> <td>27,687,305kwh</td> <td>△501,195kwh</td> </tr> <tr> <td>水道料</td> <td>160,186 m³</td> <td>150,410 m³</td> <td>△9,776 m³</td> </tr> <tr> <td>ガス料</td> <td>1,805,639 m³</td> <td>1,771,924 m³</td> <td>△33,715 m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>○廃棄物排出量 (単位：kg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>増減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般廃棄物</td> <td>237,974</td> <td>247,491</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○東博（東洋館引越）・京博（平常展示館建替）に伴い排出された一般廃棄物量を差し引いた場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>増減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般廃棄物</td> <td>237,974</td> <td>215,931</td> <td>△9.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>リサイクル実施例 (1) 廃棄物の分別収集 (2) リサイクル業者への古紙受け渡し (3) 再生紙の発注等</p>								事項	19年度	20年度	差額	電気料	397,304	427,588	30,284	水道料	89,081	84,044	△5,037	ガス料	114,008	138,811	24,803	計	600,393	650,443	50,050	事項	19年度	20年度	差額	電気料	397,304	390,591	△6,713	水道料	89,081	84,044	△5,037	ガス料	114,008	111,955	△2,053	計	600,393	586,590	△13,803	事項	19年度	20年度	差額	電気料	28,188,500kwh	27,687,305kwh	△501,195kwh	水道料	160,186 m ³	150,410 m ³	△9,776 m ³	ガス料	1,805,639 m ³	1,771,924 m ³	△33,715 m ³	事項	19年度	20年度	増減率 (%)	一般廃棄物	237,974	247,491	4.0	事項	19年度	20年度	増減率 (%)	一般廃棄物	237,974	215,931	△9.3
事項	19年度	20年度	差額																																																																													
電気料	397,304	427,588	30,284																																																																													
水道料	89,081	84,044	△5,037																																																																													
ガス料	114,008	138,811	24,803																																																																													
計	600,393	650,443	50,050																																																																													
事項	19年度	20年度	差額																																																																													
電気料	397,304	390,591	△6,713																																																																													
水道料	89,081	84,044	△5,037																																																																													
ガス料	114,008	111,955	△2,053																																																																													
計	600,393	586,590	△13,803																																																																													
事項	19年度	20年度	差額																																																																													
電気料	28,188,500kwh	27,687,305kwh	△501,195kwh																																																																													
水道料	160,186 m ³	150,410 m ³	△9,776 m ³																																																																													
ガス料	1,805,639 m ³	1,771,924 m ³	△33,715 m ³																																																																													
事項	19年度	20年度	増減率 (%)																																																																													
一般廃棄物	237,974	247,491	4.0																																																																													
事項	19年度	20年度	増減率 (%)																																																																													
一般廃棄物	237,974	215,931	△9.3																																																																													
補足事項	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水料については、節水の周知徹底により水道料は減少した。電気料及びガス料は、国際的な原油価格高騰による燃料費上昇等の影響で増加しているが、節約の周知徹底により、使用量は減少しており、19年度単価ベースにした場合、料金も減少する。 一般廃棄物については、東京国立博物館の東洋館引越し、及び京都国立博物館の平常展示館建替工事に伴い増加しているが、これらの廃棄量を差し引いた場合、減少する。 この他、「環境物品等の調達を推進を図るための方針」を定め、これを推進した。 																																																																															
定量的評価	項目	実績	目標値	評価		17	18	19	20																																																																							
	光熱水料	2.3%減	年間1.03%減	A	経年 変化	—	—	1.6%増	2.3%減																																																																							
	一般廃棄物排出量	9.3%減	年間1.00%減	A		—	—	2.9%減	9.3%減																																																																							
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)																																																																															
中期計画記載事項	(2) 使用資源の減少 <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー（5年期間中1年に1.03%の減少） 廃棄物減量化（一般廃棄物排出量を5年期間中5%減少） リサイクルの推進 																																																																															
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					中期計画に対してほぼ順調に成果をあげている。																																																																											

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進																	
担当者	担当部課	総務課	事業責任者	総務課長 吉田勇人														
実績・成果	<p>パーティー、コンサート、撮影への施設利用（平常展も観覧いただくようにし、新たな入館者の開拓も目的とする）、茶室の貸出等の促進による施設の有効利用を図る。</p> <table border="1" data-bbox="411 443 1161 745"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>平成 20 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講堂等</td> <td>385 件（内 有償貸付 104 件）</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td>124 件（内 有償貸付 69 件）</td> </tr> <tr> <td>その他（本館・表慶館・ラウンジ・前庭）</td> <td>65 件（内 有償貸付 65 件）</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>574 件 収入額 26,829,670</td> </tr> </tbody> </table> <p>入館者の拡大を目的とするコンサートとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーバード大学男性ア・カペラコーラスグループ「クロコディオロス」公演（6月15日 共催：（財）東芝国際交流財団） ・「ファミリーコンサート」（7月20日 共催：東京クラリネットクワイアー） ・「オペラの午後」（12月28日 制作協力：瀧井敬子） ・「エフゲニ・ザラフィアンツ ピアノコンサート」（6月22日 共催：サロン・ド・ソネット） <p>等を、講演会として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東大寺講演会」（9月25日 共催：東大寺） <p>演芸として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新春東博寄席」（1月11日） <p>など様々なイベントを実施した。</p>								施設名	平成 20 年度	講堂等	385 件（内 有償貸付 104 件）	茶室	124 件（内 有償貸付 69 件）	その他（本館・表慶館・ラウンジ・前庭）	65 件（内 有償貸付 65 件）	合 計	574 件 収入額 26,829,670
施設名	平成 20 年度																	
講堂等	385 件（内 有償貸付 104 件）																	
茶室	124 件（内 有償貸付 69 件）																	
その他（本館・表慶館・ラウンジ・前庭）	65 件（内 有償貸付 65 件）																	
合 計	574 件 収入額 26,829,670																	
補足事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラマ、ファッション誌等への建物の撮影についてもかなり定着し、問い合わせは非常に多い。また、今年度よりボランティアによるガイドツアー『東博たてもの散歩』において、各建物の由来だけではなく、最近の利用法として過去の撮影実績を織り交ぜて説明できるよう情報提供し、このような取り組みについてもアピールした。 ・来館者に展示観覧と併せてコンサート等を楽しんでいただけるよう、イベントの開催時間を開館時間中に設定することに努めた。 ・来館者数が比較的少ない平常展のみの期間に開催できるイベントを重点的に行い、来館者数の増加に貢献した。 																	
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	17	18	19	20									
	施設の有効利用件数	574	—	—	792	751	885	574										
	うち有償利用件数	238	—	—	171	233	350	238										
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)																	
中期計画記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進																	
中期計画に対して順調に成果を上げているか。	順調																	

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進																										
担当者	担当部課	総務課	事業責任者	総務課長	大西真一																						
実績・成果	<p>講堂等を積極的に活用するなど施設の有効利用の推進を図った。</p> <p>平常展示館講堂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会等に関する講演会（講座回数 36 回 聴講者数 合計 3,254 名） ・ 夏期講座（開催日 3 日間 申込者 177 名 当日参加者 159 名） ・ イベント開催 <ul style="list-style-type: none"> 「京都・らくご博物館」（開催日 3 日 入場者数 525 名） ミュージアムコンサート バロック音楽で綴る「平常展示館ファイナルコンサート（開催日 1 日 入場者 101 名）」 「平常展示館ファイナルコンサート」（開催日 1 日 2 回公演 入場者 345 名） <p>特別展示館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「Japan 蒔絵」プレイベントコンサート（開催日 1 日 入場者 184 名） <p>庭園（丸池周辺）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車発電エコライブ（開催日 1 日 参加者 約 100 名） <p>また、外部団体等の講演会・研修会等への施設の貸し出しを積極的に行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>外部使用件数</td> <td></td> <td>使用料</td> </tr> <tr> <td>講堂</td> <td>12 件（無料件数含む）</td> <td>22,500 円</td> </tr> <tr> <td>研修室</td> <td>19 件（ 〃 ）</td> <td>7,875 円</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td>29 件（ 〃 ）</td> <td>313,425 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>57 件</td> <td>343,800 円</td> </tr> </table>						外部使用件数		使用料	講堂	12 件（無料件数含む）	22,500 円	研修室	19 件（ 〃 ）	7,875 円	茶室	29 件（ 〃 ）	313,425 円	計	57 件	343,800 円				平常展示館講堂（夏期講座）		
外部使用件数		使用料																									
講堂	12 件（無料件数含む）	22,500 円																									
研修室	19 件（ 〃 ）	7,875 円																									
茶室	29 件（ 〃 ）	313,425 円																									
計	57 件	343,800 円																									
補足事項	<p>講堂の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和 48 年から毎週土曜日に開講の「京都国立博物館土曜講座」の会場として活用し、現在では開講件数 1,670 回を超える当館の長寿看板講座となっている。 ・ 当館の恒例となっている夏期講座の講演会場として使用している。 ・ 展覧会開催に関連するコンサート会場として使用し、開催の都度、販売チケットが完売に近い状況である。 ・ 四季それぞれの時候にあわせた「京都・らくご博物館」の開催会場として活用し、毎回ほぼ満席の盛況にある。 <p>特別展示館の中央ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別展覧会のプレイベントとして、同館の中央ホールで日本古来の雅楽器を使用したコンサートを開催したところ、満員の盛況であった。 <p>庭園（丸池周辺）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エコライブは、青空の下、前日の暖かい日からこの冬一番の寒さの中開催、一般観覧者も自転車発電のこぎ手として参加、観客とも大盛況。 <p>茶室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当館に茶室が設けられていることが徐々に浸透してきたのか茶道愛好家の利用が多い。 <p>上記の講堂については、平常展示館建て替え工事に伴いリニューアルオープンするまで、約 5 年間使用できない。このため、「土曜講座」・「らくご博物館」の開催会場は、館外の施設を利用し、今後も継続開催する。</p>																										
	項目	実績	目標値	評価	経年変化	17	18	19	20																		
	施設の有効利用件数	57 件	—			137 件	138 件	56 件	57 件																		
	うち有償利用件数	29 件	—			62 件	68 件	30 件	29 件																		
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、F の理由)																										
中期計画記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・ 施設の利用推進																										
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調に成果を上げている。																						

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化								
事業名	(3)施設有効使用の推進								
担当者	担当部課	総務課渉外室	事業責任者	渉外室長 添田美由紀					
実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用 講堂：公開講座（19回）、サンデートーク（12回）、正倉院展ボランティア解説（17日間計102回）、世界遺産学習（36校） イベント等の実施（計28回） 敷地内：唐招提寺の蓮展示、なら燈花会、音燈華、馬とのふれあいイベント 講堂：まほろば寄席、JRA 競走馬総合研究所特別連続講座、中国琵琶及び揚琴によるコンサート、立松和平氏による講演会 仏教美術資料研究センター：チェンバロコンサート、源氏物語オペラ 地下回廊：競走馬の特別展示、絵画コンクール入賞作品展示、 西新館ロビー：写真と仏画で巡る西国三十三所 								
補足事項	 <p>馬とのふれあいイベント</p>  <p>音燈華</p>								
定量的評価	項目	実績	目標値	評価		17	18	19	20
	施設の有効利用件数	84件	—	—	経年 変化	69	79	122	84
	うち有償利用件数	23件	—	—		20	28	18	23
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)								
中期計画記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調に成果を上げている。				

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化								
事業名	(3) 施設有効使用の推進								
担当者	担当部課	交流課	事業責任者	事務主査 元永行英					
実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 文化交流展示室を紹介する講座の開催や各特別展で関連する講演会を開催した。 ミュージアムホール、エントランスホール、研修室等において、各種団体主催のイベントを開催するとともに、希望団体にはミュージアムホール、研修室の貸出を行った。 各種国際シンポジウム、アジア諸国に関するイベント、留学生の日のイベント等を開催した。 ガムランワークショップや、コンサートの開催等を継続的に実施し、施設の有効活用を促進した。 <p>ミュージアムホールの利用 72件 (内 有料 3件) 研修室の利用 61件 (内 有料42件) その他(エントランスホール 外) 60件 (内 有料 0件)</p>								
補足事項	<ul style="list-style-type: none"> 特別展関連講演会 島津の国宝と篤姫の時代展記念講演会『5人の篤姫～「維新前後風刺画」にみる幕末の日本～』(期間：7/19, 参加者数：300名)等を開催した。 各種団体主催イベント 開館3周年記念協賛「温泉足湯」～お!館外(ここ)にもあった 至福の時間～(期間：10/11～10/13, 参加者数：500名)等を開催した。 国際シンポジウム 九州国立博物館開館3周年・日本考古学協会創立60周年・太宰府発掘調査40周年記念国際シンポジウム「百済、倭そして太宰府」(期間：12/6・7, 参加者数：385名)等を開催した。 コンサート きゅーはくミュージアムコンサートを毎月開催した。 特別展関連イベント及び「留学生の日」イベントとして、菅公(カンコー)学生服フェスティバルを開催した。(期間：11/9) 								
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	17	18	19	20
	施設の有効利用件数 うち有償利用件数	193件 45件	— —	— —		— —	— —	188 28	193 45
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)								
中期計画記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。				順調に成果を上げている。					



きゅーはくミュージアムコンサート

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(3) 施設有効利用の推進			
-----	---------------	--	--	--

担当者	担当部課	東京文化財研究所管理部	事業責任者	管理部長 北出猛夫
-----	------	-------------	-------	-----------

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー室、会議室等を利用することにより、施設の有効利用の推進を図った。 ・研究成果を広く一般にも公表するためのオープンレクチャーを毎年秋に開催。また、このレクチャーは、台東区との連携事業として「上野の山文化ゾーンフェスティバル」の講演会シリーズのプログラムの一つとしても企画された。 			
-------	--	--	--	--

補足事項	 <p>第42回オープンレクチャー「人とモノの力学」の様様</p>			
------	---	--	--	--

定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	17	18	19	20
	施設の有効利用数	140件	—	—		—	—	—	266
うち有償利用数	21件	—	—	—	—		40	21	

年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)			
--------------	-------------------------	--	--	--

中期計画 記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進			
--------------	---------------------------	--	--	--

中期計画に対して順調に成果を上げているか。	順調に成果を上げている
-----------------------	-------------

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(3) 施設有効利用の推進																												
担当者	担当部課	管理部業務課	事業責任者	業務課長 東 博信																									
実績・成果	<p>施設の有効利用及び調査研究の進展並びに行政サービスの向上を包括的にとらえて、事業運営の展開を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th colspan="2">20 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平城宮跡資料館講堂</td> <td>107 件</td> <td>(内 有償貸与 2 件)</td> </tr> <tr> <td>平城宮跡資料館小講堂</td> <td>137 件</td> <td>(内 有償貸与 0 件)</td> </tr> <tr> <td>寄宿舎施設</td> <td>1,824 件</td> <td>(内 有償貸与 64 件)</td> </tr> <tr> <td>その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)</td> <td>11 件</td> <td>(内 有償貸与 5 件)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,079 件</td> <td>(内 有償貸与 71 件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 調査研究成果を公表する場として、また、調査研究の進展に資することを目的として多岐にわたる各研究分野において、講習会・研究会・学会等を開催した。 ② 広く国民に文化財への理解を求めるべく、セミナー及び一般参加型のイベント等を開催した。 ③ 一般利用申し出への行政サービスの向上を図る方針のもとに、HP 上での施設利用紹介等による積極的有効利用 (貸付等) の促進を図った。 ④ 奈良文化財研究所が企画実施する研修等に際して、宿泊施設の有効活用を図った。 ⑤ 飛鳥資料館講堂において、団体入館者の要望に応じて、大型モニター映像による集合解説を実施した。(年間 17 回・1 回平均 50 名参加) ⑥ 上記のほか、平城宮跡資料館、飛鳥資料館の各ミュージアムショップ (売店) の運営を外部委託し、図録等の販売を通して来館者の利便に供した。</p>								施設名	20 年度		平城宮跡資料館講堂	107 件	(内 有償貸与 2 件)	平城宮跡資料館小講堂	137 件	(内 有償貸与 0 件)	寄宿舎施設	1,824 件	(内 有償貸与 64 件)	その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)	11 件	(内 有償貸与 5 件)	合計	2,079 件	(内 有償貸与 71 件)			
施設名	20 年度																												
平城宮跡資料館講堂	107 件	(内 有償貸与 2 件)																											
平城宮跡資料館小講堂	137 件	(内 有償貸与 0 件)																											
寄宿舎施設	1,824 件	(内 有償貸与 64 件)																											
その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)	11 件	(内 有償貸与 5 件)																											
合計	2,079 件	(内 有償貸与 71 件)																											
補足事項	<p>平成 19 年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th colspan="2">19 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平城宮跡資料館講堂</td> <td>164 件</td> <td>(内 有償貸与 2 件)</td> </tr> <tr> <td>平城宮跡資料館小講堂</td> <td>168 件</td> <td>(内 有償貸与 5 件)</td> </tr> <tr> <td>寄宿舎施設</td> <td>1,471 件</td> <td>(内 有償貸与 56 件)</td> </tr> <tr> <td>飛鳥資料館講堂</td> <td>18 件</td> <td>(内 有償貸与 0 件)</td> </tr> <tr> <td>その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)</td> <td>20 件</td> <td>(内 有償貸与 12 件)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,841 件</td> <td>(内 有償貸与 75 件)</td> </tr> </tbody> </table>								施設名	19 年度		平城宮跡資料館講堂	164 件	(内 有償貸与 2 件)	平城宮跡資料館小講堂	168 件	(内 有償貸与 5 件)	寄宿舎施設	1,471 件	(内 有償貸与 56 件)	飛鳥資料館講堂	18 件	(内 有償貸与 0 件)	その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)	20 件	(内 有償貸与 12 件)	合計	1,841 件	(内 有償貸与 75 件)
施設名	19 年度																												
平城宮跡資料館講堂	164 件	(内 有償貸与 2 件)																											
平城宮跡資料館小講堂	168 件	(内 有償貸与 5 件)																											
寄宿舎施設	1,471 件	(内 有償貸与 56 件)																											
飛鳥資料館講堂	18 件	(内 有償貸与 0 件)																											
その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)	20 件	(内 有償貸与 12 件)																											
合計	1,841 件	(内 有償貸与 75 件)																											
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	17	18	19	20																				
	施設の有効利用件数 うち有償利用件数	2,079 件 71 件	— —	— —			— —	1,841 75	2,079 71																				
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、F の理由) 一般利用に供することが可能な施設の有効利用が図れた。																												
中期計画 記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進																												
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調に成果を上げている。																								

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(4) 民間委託の推進								
担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館総務部経理課、京 都国立博物館総務課、奈良国立博 物館総務課、九州国立博物館総務 課、東京文化財研究所管理部、奈 良文化財研究所管理部管理課	事業責任者	事務局長 金谷 史明					
実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 電気設備保守業務、機械設備保守業務、売札業務、昇降機設備保守点検業務、各種事務補助作業等について、民間委託を実施している。 博物館の清掃業務については、全ての博物館で民間委託を実施しており、警備・展示室監視等業務についても大部分、民間委託を実施している。また、研究所についても、警備・清掃業務を外部委託している。 来館者サービスに関しては、インフォメーション業務、図書貸出等業務について民間委託を実施している。 								
補足事項	<ul style="list-style-type: none"> 外部委託が可能な業務については、概ね民間委託が進められている。 来館者・非来館者についての調査を外部委託で実施し、サービスの向上に反映させるよう努めている。 また、複数の業務についての包括契約化、複数年契約、近隣の機関及び法人内同一地域での一括契約などの実施により、経費の効率化を図っている。 外部委託の増加に伴い、契約手続きや指導・監督の業務負担も増加するなど、人件費削減が更に求められている現状では、限られた職員での対応が困難な場合も生じてきている。 								
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	17	18	19	20
	—	—	—	—		—	—	—	—
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)								
中期計画記載事項	(4) 民間委託の推進 <ul style="list-style-type: none"> 一般管理部門を含めた組織・業務の見直しを行い、民間開放をさらに積極的に進める。 館の警備・清掃業務について民間委託を推進する。 来館者サービスを中心に業務の見直しを行い、民間委託を積極的に進める。 								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					中期計画に対して順調に成果を上げている。				

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化																
事業名	(5) 競争入札の推進																
担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館総務部経理課、京 都国立博物館総務課、奈良国立博 物館総務課、九州国立博物館総務 課、東京文化財研究所管理部、奈 良文化財研究所管理部管理課	事業責任 者	事務局長 金谷 史明													
実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 一般競争契約の限度額は国の規準と同額としているが、基準額に達しない契約の場合も、可能なものについては一般競争入札を実施している。 新たに電子複写機賃貸借及び保守、職員定期診断、人材派遣契約、空調設備等の運転管理業務他請負、清掃業務、昇降機保守業務、自家用工作物保安業務等を一般競争入札で行い経費効率化を図った。 また、ホームページ作成など一部の契約について企画競争を実施している。 <p style="text-align: center;">一般競争入札件数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>98件</td> <td>142件</td> <td>44件</td> </tr> </tbody> </table>									年度	19年度	20年度	増減	件数	98件	142件	44件
年度	19年度	20年度	増減														
件数	98件	142件	44件														
補足事項	<ul style="list-style-type: none"> 総務省からの要請に基づき、「独立行政法人整理合理化計画」の一環として、随意契約の見直しを行い、随意契約によることがやむを得ないものを除き、本年度から順次競争契約に移行を図っている。 独立行政法人整理合理化計画（19年12月24日閣議決定）の方針に基づき、東京国立博物館及び東京文化財研究所の施設管理・運営業務（展示等の企画運営を除く）について、21年10月開始へ向けて民間競争入札準備を進めている。 																
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	17	18	19	20								
	—	—	—	—		—	—	98件	142件								
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)																
中期計画記載事項	(5) 競争入札の推進 <ul style="list-style-type: none"> 契約業者の競合を一層推進することにより、経費の効率化を図る。 																
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					中期計画に対して順調に成果を上げている。												

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(6) 自己収入の増大								
担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者	総務企画課長 藤本慎也					
実績・成果	<p>・独立行政法人整理合理化計画の勧告に従い、自己収入の増大計画について、具体的な数値目標を立てるべく、ワーキンググループを設け、21年度計画に反映した。</p> <p>21年度計画（抜粋）</p> <p>(6) 定量的な目標の設定</p> <p>独立行政法人整理合理化計画（19年12月24日閣議決定）の方針に基づき、外部資金の活用及び自己収入の増大に向けて、以下の定量的な目標の達成を目指す。</p> <p>1) 機構全体において、入場料収入（共催展を除く）及びその他収入について、1.16%の増加を目指す。</p> <p>2) 機構全体において、寄附金226件及び科学研究費補助金76件の確保を目指す。</p>								
補足事項									
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	17	18	19	20
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)								
中期計画記載事項	<p>1 職員の意識改革を図るとともに、収蔵品の安全性の確保及び入館者へのサービスの向上に考慮する。また、運営費交付金を充当して行う事業については、国において実施されている行政コストの効率化を踏まえ、業務の効率化を進め、さらに、外部委託の推進等により、中期目標の期間中、毎事業年度につき新規に追加される業務、拡充業務分等を除き5年間で一般管理費15%以上、業務経費5%以上の業務の効率化を図る。</p> <p>さらに、法人統合のメリットも最大限に生かしつつ業務の効率化に務め、機構の業務運営に際しては、一般管理業務の本部への一元化、集約化等を図り、19年度一般管理費（物件費）の10%相当を統合後5年間で削減を図る。</p>								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調に成果を上げている。				

中項目		2 事業評価の実施及び職員の意識改善							
事業名	2 事業評価の実施及び職員の意識改善								
担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者	総務企画課長 藤本慎也					
実績・成果	<p>1) コンプライアンス体制の整備</p> <p>○いままで各施設での制定等で運用していた「文化財購入に関する手続き」等の規定について、機構全体として更なる透明性を図る観点から、統一した規定として整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「独立行政法人国立文化財機構有形文化財の収集等に関する規程」 ・「独立行政法人国立文化財機構修理契約委員会要項」 ・公募・企画競争に係る手続き等に関する標準マニュアル <p>○決算事務のスムーズな実施のため、「決算業務について」及び「20年度決算スケジュール」等について事務局長通知を行うなど、法人本部と各施設担当者での情報の共有に努めた。</p> <p>2) 運営改善コンクールを開催し、職員の意識及び意欲の向上を図った。</p> <p>○スケジュール</p> <p>7月1日～7月31日 募集</p> <p>11月18日 審査委員会開催（委員長：佐々木理事長）</p> <p>12月11日 表彰</p> <p>○応募総数 39件</p> <p>○結果 佳作 4件</p> <p>生理用品の自動販売機の設置 撮影者申込増加のための撮影紹介パンフレット作成・HPの掲載方法の修正 研究者一覧（データベース）の作成 機構内規程集のウェブ化</p>								
補足事項	<p>2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佳作に入選した4件については、21年度に順次実施予定である。 ・継続性が大事であるので、職員の意欲喚起と運営の改善のためにも21年度も引き続き実施する予定である。 								
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	17	18	19	20
	コンクール応募総数	39件	—	—					
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)								
中期計画記載事項	2 外部有識者も含めた事業評価の在り方について適宜、検討を行いつつ、年1回以上事業評価を実施し、その結果は組織、事務、事業等の改善に反映させる。また、研修等を通じて職員の理解促進、意識や取り組みの改善を図っていく。								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調に成果を上げている。				

中項目	3 情報の安全性向上								
事業名	3 情報の安全性向上								
担当者	担当部課	本部総務企画課			事業責任者	総務企画課長 藤本慎也			
実績・成果	<p>1) 機構情報システム管理規程に基づく規定の策定 20年度は19年度に策定した「独立行政法人国立文化財機構 情報システム管理規程（平成20年3月14日制定）」に基づき、機構においては以下の規定を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報課委員会組織要項 ・情報格付け基準 ・情報セキュリティ対策要項 ・ネットワーク管理運用要項 ・情報システム調達・導入基準 ・セキュリティインシデント対応手順 ・情報システム点検・評価要項 ・情報システム監査要項 <p>2) 情報システム点検・評価の実施 情報システム点検・評価要項に基づき、i)各施設で規定する手順等の整備状況、ii)物理的・技術的セキュリティ対策の実施状況等について、各施設で自己点検評価を実施し、各施設における情報セキュリティ体制のさらなる整備に努めた。</p> <p>3) 情報システム監査の実施 20年度は奈良国立博物館を対象に実施した。</p>								
補足事項									
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	17	18	19	20
	—	—	—	—					
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)								
中期計画記載事項	3 機構が管理する情報の安全性向上のため、必要な措置をとる。								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調に成果を上げている。				

中項目	4 人件費の削減																																						
事業名	4 人件費の削減																																						
担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者	総務企画課長 藤本慎也																																			
実績・成果	<p>・人件費削減実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>17年度 (A分類 実績ベース)</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>22年度目標値 (17年度に比して △5.00%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績(千円)</td> <td>2,878,750</td> <td>2,789,360</td> <td>2,773,688</td> <td>2,745,389</td> <td>2,734,812</td> </tr> <tr> <td>前年度に対する 削減率</td> <td>—</td> <td>△3.11%</td> <td>△0.56%</td> <td>△1.02%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>17年度に対する 削減率</td> <td>—</td> <td>△3.11%</td> <td>△3.65%</td> <td>△4.63%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>17年度に対する 削減率(補正值)</td> <td>—</td> <td>△3.11%</td> <td>△4.35%</td> <td>△5.33%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>・人事給与統合システムが平成20年4月から稼働し、機構全体として統一的な処理ができるようになった。さらに人件費の削減に向けたシミュレーション等により人件費に関する計画を円滑に企画・立案することができた。</p>										17年度 (A分類 実績ベース)	18年度	19年度	20年度	22年度目標値 (17年度に比して △5.00%)	実績(千円)	2,878,750	2,789,360	2,773,688	2,745,389	2,734,812	前年度に対する 削減率	—	△3.11%	△0.56%	△1.02%	—	17年度に対する 削減率	—	△3.11%	△3.65%	△4.63%	—	17年度に対する 削減率(補正值)	—	△3.11%	△4.35%	△5.33%	—
	17年度 (A分類 実績ベース)	18年度	19年度	20年度	22年度目標値 (17年度に比して △5.00%)																																		
実績(千円)	2,878,750	2,789,360	2,773,688	2,745,389	2,734,812																																		
前年度に対する 削減率	—	△3.11%	△0.56%	△1.02%	—																																		
17年度に対する 削減率	—	△3.11%	△3.65%	△4.63%	—																																		
17年度に対する 削減率(補正值)	—	△3.11%	△4.35%	△5.33%	—																																		
補足事項	<p>※人件費削減実績表中の「補正值」とは、「行政改革の重要方針」(平成17年12月24日閣議決定)による人事院勧告を踏まえた官民の給与較差に基づく給与改定分を除いた削減率である。なお、平成18年、平成19年、平成20年の行政職(一)職員の年間平均給与の増減率はそれぞれ0%、0.7%、0%である。</p>																																						
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	17	18	19	20																														
	人件費削減率 (17年度比較)	△4.63%	17年度 決算額に 比して5 年間で 5%削減	—		—	△ 3.11%	△ 3.65%	△ 4.63%																														
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)																																						
中期計画 記載事項	<p>「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」(平成18年法律第47号)に基づき、国家公務員に準じた人件費改革に取り組み、平成18年度からの5年間において、△5%以上の人件費削減を行う。また、国家公務員の給与構造改革を踏まえた給与体系の見直しを行う、更に、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」(平成18年7月7日閣議決定)に基づき、国家公務員の改革を踏まえ、人件費改革を平成22年度まで継続する。</p>																																						
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調に成果を上げている。																																		